



助成：平成30年度文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)

Orchestra Ensemble Kanazawa
30th
Anniversary

オーケストラ・アンサンブル金沢 富山特別公演 with 合唱団OEKとやま

Orchestra Ensemble Kanazawa Special Concert in Toyama

[ベートーヴェン：ミサ・ソレムニス]
ニ長調 Op.123

L.v.Beethoven, Missa solemnis in D major Op.123

2018年

8月26日 16:00 開演 富山県民会館

■主催：(公財)石川県音楽文化振興事業団、合唱団OEKとやま
■共催：北日本新聞社、北日本放送

Program
●プログラム

指揮: 山下 一史
Kazufumi Yamashita, Conductor

ソプラノ: 川越 塔子
Toko Kawagoe, Soprano

テノール: 中鉢 聡
Satoshi Chubachi, Tenor

メゾ・ソプラノ: 鳥木 弥生
Yayoi Toriki, Mezzo-soprano

バリトン: 豊嶋 祐壹
Yuichi Toyoshima, Baritone

管弦楽: オーケストラ・アンサンブル金沢
Orchestra Ensemble Kanazawa

合唱: 合唱団OEKとやま
Chorus OEK Toyama

ベートーヴェン: ミサ・ソレムニス
ニ長調 Op.123

L.v. Beethoven, Missa solemnis in D major Op. 123

第1曲〈キリエ〉

第2曲〈グローリア〉

第3曲〈クレド〉

第4曲〈サンクトゥス〉

第5曲〈アニュス・デイ〉

ベートーヴェンが作曲した2つの純粋な宗教曲のうち、特に晩年の「ミサ・ソレムニス」は、宗教曲の範疇に収まらない西洋音楽史上の偉大な作品であり、作曲家自身も非常に高く評価していた。

西洋音楽の歴史は、宗教音楽とそれ以外の世俗音楽に大きく分類され、宗教音楽の比重が圧倒的に高い時代が長く続く。理由は音楽家という職業が教会に所属して成り立っていたことが大きい。教会や宮廷のくびきから自由な活動へと転じる先駆けがモーツァルトであり、それに続いたのがベートーヴェンだ。よって、ベートーヴェンの「ミサ・ソレムニス」は、彼の重要な支援者であったルドルフ大公の即位式で演奏することが作曲の動機であり、聖歌や教会旋法などの研究を重ねた上でミサ曲の形式にのっとって書かれてはいるものの、ベートーヴェンがそれまでの器楽作品で積み上げてきた技法を駆使し、教会を超えて演奏されることを想定した大きな構想に基づいて作曲されている点に特徴がある。

ミサ曲は、典礼文の中で常に一定であるテキストを歌詞にして発展し、一般に〈キリエ〉、〈グローリア〉、〈クレド〉、〈サントゥス〉、〈アニュス・デイ〉の5つの部分で構成される。

第1曲〈キリエ〉

曲は〈キリエ〉から始まるが、この「憐れんでください」という祈りは作品全体を通底するもの。

Kyrie eleison. 主よ、憐れんでください。

Christe eleison. キリストよ、憐れんでください。

Kyrie eleison. 主よ、憐れんでください。

3つの呼びかけに呼応するようにABAの3部形式による。冒頭の和音は当時人気があったモーツァルトの「魔笛」序曲を想起させるが、「英雄」や「運命」交響曲でもわかる通り、曲の冒頭で一気に聴衆を惹き込むことにたけていたベートーヴェンらしい導入だ。

第2曲〈グローリア〉

続いて、神の栄光を輝かしく讃える〈グローリア〉。歌詞はひたすら賛美を連ねるというシンプルなもの。ベートーヴェンが「憐れんでください(miserere)」の句の前に、「ああ(ah)」「おお(o!)」など典礼文のテキストにない間投詞を導入し、感情の高まりを表現したことは前例がなく、ミサ曲を拡張的な概念で捉えていたことの表れと言えよう。

曲の終わりは長大なフーガとなって掛け合いが続き、「アーメン」へと導かれる。この句は「そうなりますように」という意味のヘブライ語だが、ベートーヴェンが曲を「アーメン」という言葉で終了させず、「グローリア」と続けたことも慣例的ではない彼のスタンスを表している。

第3曲〈クレド〉

ミサの儀式では、聖書朗読と司祭の説教がなされ、それを受けて会衆が神の言葉に共鳴して信仰を宣言する〈クレド〉に至る。ベートーヴェンは〈クレド〉においても、全体の3分の1以上を占める長大なフーガを置いている。

第4曲〈サントゥス〉

ミサのクライマックスとなる感謝の典礼で「聖なるかな!」と歌われるのが、感謝と賛美の歌〈サントゥス〉。〈サントゥス〉は輝かしい曲調が多いが、この作品では「祈りを込めて」という指示とともに短調の遅いテンポで始まる。後半の〈ベネディクトゥス〉部分では、独奏ヴァイオリンと絡み合った音楽の美しさが大きな聴きどころ。

第5曲〈アニュス・デイ〉

聖体拝領が行われる中で歌われるのが、平和への賛歌である〈アニュス・デイ〉。3部形式となっており、中間部ではベートーヴェン自身による「内的・外的な平安への願い」という注釈がなされ、ティンパニとトランペットによる戦争を想起させるような不穏な要素が現れるものの、「平和(pacem)」という言葉へと収斂して行く。

初演:1824年4月7日 サンクトペテルブルクにて。ウィーンでは同年5月7日に一部が交響曲第9番とともに初演された。

Profile

●プロフィール



指揮 山下 一史
Conductor Kazufumi Yamashita

1984年桐朋学園大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学。86年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。

85年12月からカラヤンのアシスタントを務め、ベルリン・フィル演奏会で急病のカラヤンの代役としてジーンズ姿のまま「第九」を指揮し話題となる。以降、アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者などを歴任。2002年より大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者、08年4月より同団名誉指揮者。06年より仙台フィル指揮者として迎えられ、R.シュトラウス「英雄の生涯」などのCD制作を行うなど積極的な活動を展開。09年4月から12年3月まで同団正指揮者。09年4月にはサンクトペテルブルク響定期に出演し、大成功を収めた。また、11年2月シューマン「ゲノフェーフア」日本舞台初演、13年1月水野修孝 歌劇「天守物語」など、現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。2016年4月より千葉交響楽団(旧ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉)音楽監督就任。



ソプラノ 川越 塔子
Soprano Toko Kawagoe

東京大学法学部卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。平成14年度文化庁新進芸術家国内研修員。平成18年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。フランス、イタリアで研鑽を積む。第3回Bunkamuraオペラティック・パトル明日の MARIA・カラス ぼくらのドミンゴを探せ!!」で優勝。02年「夕鶴」でつうに抜擢されオペラ・デビュー。藤原歌劇団をはじめ各地で「イル・カンピエッロ」「愛の妙薬」「フィガロの結婚」「蝶々夫人」「椿姫」等多数主演。「天守物語」「高野聖」等日本作品でも高評を得るほか、「NHKニューイヤー・オペラコンサート」のコンサート等、幅広く活躍中。2015年CD「パリの薫り〜Concert Apéritif」をリリース。日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。



メゾ・ソプラノ 鳥木 弥生
Mezzo-soprano Yayoi Toriki

武蔵野音楽大学卒業。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院オペラ芸術科のディプロマを最高位で取得。藤原歌劇団には、「カルメン」のメルセデスでデビュー後、「ラ・トラヴィアータ」「ランスへの旅」「リゴレット」「セビリヤの理髪師」「仮面舞踏会」「カプレーティ家とモンテッキ家」等多くのオペラに出演し好評を博す。また近年ではバルセロナ他での「蝶々夫人」、全国共同制作公演笈田ヨシ演出「蝶々夫人」等、国内外に於いて活躍し高い評価を得ている。

その他「第九」「レクイエム」等コンサートのソリストとしても、著名な指揮者、オーケストラと数多く共演している。2015年度岩城宏之音楽賞受賞。武蔵野音楽大学講師。藤原歌劇団団員。石川県出身。



テノール 中鉢 聡
Tenor Satoshi Chubachi

東京藝術大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。平成5年度文化庁芸術家国内研修員。藤原歌劇団で「ラ・トラヴィアータ」「東洋のイタリア女」等に出演後、イタリアに留学。帰国後、同団「ロメオとジュリエット」のロメオに抜擢され成功を収める。以後、藤原歌劇団「アドリアーナ・ルクヴール」「トスカ」「愛の妙薬」や新国立劇場「建・TAKERU」「こうもり」「マノン・レスコー」、日本オペラ協会「天守物語」「春琴抄」「夕鶴」など多数の作品に主演。その他「第九」や「レクイエム」等のソロ、「NHKニューイヤール・オペラコンサート」、国際サッカー試合での国歌独唱、全国各地でのリサイタル等多方面で活躍を見せている。CD「プリモ・バーチャ」発売中。洗足学園音楽大学客員教授。日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。



バリトン 豊嶋 祐壹
Baritone Yuichi Toyoshima

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。93年北海道国際音楽交流協会奨学生として、99～01年に第8回(財)江副育英オペラ奨学生として、03年から文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。第5回ハイメスコンクール第1位他多数入選。98年にミラノにて「リゴレット」のタイトルロールでイタリアデビューを果たし、「ラ・トラヴィアータ」「蝶々夫人」等で出演。藤原歌劇団には、99年「ラ・ボエーム」シヨナールでデビューし、「蝶々夫人」ボンゾ、「カプレーティ家とモンテッキ家」カベッリオ、「ドン・ジョヴァンニ」騎士長等で好評を博している。また日本オペラ協会への出演も多く「天守物語」「春琴抄」「袈裟と盛遠」「よさこい節」「夕鶴」等に出演。01年度社団法人日本青年会議所「人間力大賞」受賞。日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。



一昨年まで「合唱団おおやま」の名称で、21年間21回に渡り毎年夏に富山市大山文化会館においてオーケストラとの共演による演奏会を開催してきた。この演奏会では、ラター、ペルト、ドプロゴス、佐藤賢太郎、ヤイロ、ミラーなど、現代作曲家のミサ曲を数多く取り上げてきた。昨年、富山県民会館で大編成の合唱団によるヴェルディのレクイエムを演奏するに当たり、合唱団OEKとやまと名称を改めた。オーケストラ・アンサンブル金沢との共演は通算21回目、指揮の山下一史氏とは15回目の共演となる。

合唱団員募集中。

お問合せは谷崎＝(090-8093-7549)まで。

<http://ww2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

合唱指揮 内山 太一・谷崎 修一

コレペティトゥア 村上 麻理

■ソプラノ

上野 聡美	谷崎 キミ子	林 洋子	宮本 幸江
岡本 洋子	谷崎 千紗	廣井 志織	本吉 規子
慶松 能里子	谷崎 千鶴	藤村 千賀子	山崎 忍
島田 育子	千葉 多恵	松井 照枝	山崎 陽子
高野 登喜美	寺崎 香織	水島 成子	山本 裕美
武部 由貴美	羽岡 典子	宮東 智香子	吉田 有希

■アルト

麻島 利子
荒川 祥子
飯田 三千代
井上 澄子
上田 富士恵
上埜 直子
岡本 祀子
岡本 智子
奥野 知子

桶谷 道子
笠置 由美子
笠島 富美子
片山 美富里
北村 由理子
木村 まゆみ
小島 久美
齋藤 きよみ
佐伯 るみ

坂田 愛子
高木 茂子
高橋 英子
津田 玉美
手林 晶子
戸田 圭子
豊岡 聡子
仲井 葉子
中川 律子

永澤 美保
中村 栄
野関 清美
平崎 康子
福本 由美子
松井 真理
宮本 安芸子
村椿 伸子

■テノール

飯田 泰三
井内 学
市橋 健
大崎 晴夫

上山 優
小松 哲
坂本 真一
長田 充弘

廣野 正和
牧 重和
三羽 康嗣
安川 幸治

山崎 勝幸

■バス

麻島 宗義
飯田 憲司
上田 慎一
金盛 正寛

小西 由郎
城石 平一
鈴木 一暢
谷崎 修一

鶴木 宏安
年代 拓夢
野入 豊光
花木 直二

松井 輝
松浦 徹男
松田 昭治



1988年、世界的指揮者、故 岩城宏之が創設音楽監督(永久名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。2001年金沢駅前に開館した石川県立音楽堂を本拠地とし、多くの定期公演や北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。ヨーロッパ、オーストラリア、アジアを含む海外公演も多い。

設立時よりコンポーサー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施し、多くの委嘱作品を初演、CD化している。その他、ジュニア・オーケストラの指導、学生オーケストラの指導と共演など、子供たちの育成・音楽文化の普及活動にも積極的に取り組んでいる。90枚を超えるCDもリリース。18年9月より、指揮者のマルク・ミンコフスキを芸術監督に迎える。

◆公式サイト <http://www.oek.jp/>



1932-

岩城宏之

-2006

Hiroyuki Iwaki Memorial Concert メモリアルコンサート

2018.9月8日(土) 14:00開演
(13:15開場)

石川県立音楽堂コンサートホール

(JR 金沢駅南六口 〒920-0856 金沢市昭和町20-1 TEL.076-232-8111)

指揮/ユベール・スダーン
OEKプリンシパル・ゲストコンダクター
首席客演指揮者 2018年9月~

ソプラノ/吉田 珠代
2018年岩城宏之音楽賞受賞者

ピアノ/居福 健太郎

プロコフィエフ
古典交響曲 op.25

モーツァルト
「どうしてあなたを忘れられましょう」 K.505

池辺晋一郎
この風の彼方へ—オーケストラのために (OEK 委嘱作品・世界初演)

モーツァルト
交響曲 第35番 二長調 K.385「ハフナー」 ほか

全席指定 (税込) S席=5,000円 A席=4,000円 B席=3,000円
スターライト席(豪華バリエーション) 1,000円

OEK定期会員 S席 3,000円 A席 2,000円 (石川県立音楽堂チケットボックスのみ取扱)
25才以下当日券を50%オフでご購入いただけます!
(年齢を証明できるものをご提示下さい)



石川県立音楽堂チケットボックス TEL.076-232-8632
WEBからの予約もできます。 <http://www.oek.jp/>

香林坊大和・ローソンチケット(Lコード 51856)・チケットぴあ
(Pコード 119-882)・セブンチケット

